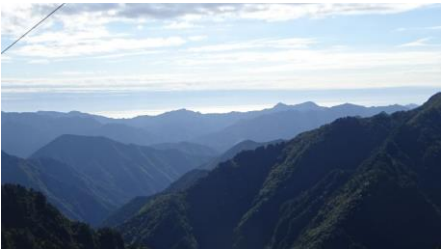


行仙宿、補給路の橋台造り

◇実施日 10月20日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、阪口雄二、梶野照雄 4名

行仙宿補給路の岩が続くところに橋を架けるため、コンクリートの橋台を造る工事を行っている。今回は4回目で、小屋に近い方の橋台に型枠を作ってモルタルを流し込む作業を行った。



登山口を出る

熊野灘が見えている

水を運んだ

段ボールで型取りし、切ってきた合板を組み立てて枠を作る。新宮から3人が加わってくれたので、砂や砂利を運ぶのに時間はかからなかった。練箱に3回モルタルを作って予定の高さまで流し込むことができたが、セメントを使い果たしてしまった。11日にモルタル施工した下側の橋台は

半分ほどしかできていないので、日を改めてセメントを追加し、完工したいと思う。



型枠を組み立てる



モルタルを作る



完成



グレーチングを被せる



本日の参加者



取水元は十分な水量

現場作業を終え小屋に向かった。大江さんから寄贈されたグレーチン

グを小屋西側の排水溝に被せてみた。突起が塩ビパイプに収まらないが、片方を内側、もう片方を外にすることで何とか安定することができた。

昼食後下山した。下山後、水場の確認に向かったが、上部の水溜バケツは溢れるほど水が流れていた。林道脇のホースから水は出ているが、か細い流れで、上部の水量と一致しない。どこかで詰まっているのは間違いない。次回に再度点検したい。

(記；梶野)

行動タイム

09：30 補給路登山口→10：00 コジマハウス→10：15 橋台工事現場
11：43→11：47 行仙宿 13：11→13：27→13：45
補給路登山口